

会 議 録

日 時	平成30年11月16日(金) 午後2時00分～3時35分
場 所	七尾市役所 5階災害対策本部室
会議名	平成30年度第2回七尾市行財政改革推進委員会
出席者	南紀一委員(委員長)、佐藤一郎委員(副委員長)、木内良純委員、小林信之委員、櫻井定宗委員 千場恵美子委員、津田康子委員、南智文委員、和田眞裕美委員
	白田総務部長、福島市民生活部長、津田健康福祉部長、前田産業部長
	栗津建設部長、中川教育部長、寺尾病院経営本部長
	企画財政課:楠課長、山本課長補佐、竹下主幹、水谷主任
1 委員長あいさつ	
2 議事・質疑応答	
(1)平成31年度行財政改革アクションプラン(案)について(説明:竹下)	
櫻井委員	<p>いくつか質問というかお願いしたいことがある。</p> <p>①民間活力について。公立保育園の廃止、民営化に関連して、全国的に保育士が足りない。退職した保育士の活用をご検討いただきたい。</p> <p>②職員の資質向上について。職員の3年のジョブローテーションとあるが、子育て分野は制度の変わり目。なるべく人事異動に配慮していただきたい。</p> <p>③研修について。公立保育園の職員の方が自費で研修を受けていると聞く。配慮していただきたい。</p> <p>④ふるさと納税について。奨学金の基金として活用できないか。</p> <p>⑤事務事業の見直しについて。少額予算の事業でも人命に関わる施策もある。配慮していただきたい。</p>
総務部長	<p>①の保育士の再雇用については、再任用希望者の方にフルか時短を選んでいただいている。民間の保育園に再就職することについては制限をかけていない。</p> <p>②の職員のジョブローテーションについては、課の職員を全員代えることはしていない。しっかり事務引継ぎを行うことで対応している。</p> <p>③の保育士の研修について。基本的に必要な研修は公費負担で参加していただいている。</p>
企画財政課長	<p>④の奨学金の活用については、担当課において検討する。市役所にお任せしていただきたい。</p> <p>⑤の事務事業の見直しについては、金額の大小ではなく、当初の目標を達成した事業を中心に見直しを行っていくことを考えている。</p>
和田委員	<p>私もいくつか質問したい。</p> <p>①土曜日窓口開庁の見直しとあるが、やめる方向なのか。</p> <p>②働き方改革の推進とあるが、この内容では改善するという内容が見えない。</p> <p>③OJT研修とあるが、民間では当たり前。民間でいうフレッシュャーズ指導者はいないのか。</p> <p>④児童館の見直しとは何か。</p> <p>⑤給食費の公会計化とは何か。</p> <p>⑥能登病院などにおいて、医療費の未納者への対応はどうするのか。</p> <p>⑦使用料の見直しについて。行政とともに事業を行う民間団体の施設利用については、使用料を免除すべきではないか。今年になって急に使用料を徴収されたと聞いている。</p>
小林委員	<p>このプラン(案)はガイドラインと考えていいのか。この案を出されてすべてを議論するのは無理ではないか。例えば、今回はこのテーマについて議論していただきたいというような形にできないのか。策定方法についてどう考えているのか。</p>

企画財政課長	<p>和田委員の質問に対してお答えさせていただく。</p> <p>①について、土曜日開庁をやめたいと考えている。</p> <p>②について、記載内容について検討させていただく。</p> <p>③について、OJT研修の件については、配属された先の先輩職員を指導員として任命している。</p> <p>④について、児童館、放課後児童クラブは19館ある。これを無くすということではないが、今後、どのような形にするか検討したいと考えている。</p> <p>⑤について、給食費の公会計化についてであるが、現在、各学校で会計をもっていたものを、市役所で管理していきたいと考えている。</p> <p>⑥について、能登病院などにおける未納者の対応についてであるが、条例をつくり、管理していきたいと考えている。</p> <p>⑦について、使用料の見直しについてであるが、前回の消費税増税時に見直しを行っていないため、今回増税分を転嫁したいと考えている。</p>
企画財政課長	<p>次に小林委員の質問に対してお答えさせていただく。</p> <p>このプランは、前回お示した総合計画を支えるものとして位置付けている。</p> <p>なお、プランに平成31年度からと決まっているものについては時期を記載している。その他については、時期が決まり次第、来年以降、追加していく。</p>
南委員長	<p>具体的に決まったものについては、その都度、その時の委員に提案するという事で理解いただきたい。</p>
千場委員	<p>行政コーナーのワンストップ化と土曜日開庁の見直しについて、意見させていただく。</p> <p>まずは、しっかりとアンケート等を行い、市民の声を聞くべきではないか。</p> <p>土曜日をやることで、子ども医療費の還付手続きができなくなる方が出てくるのではないか。</p> <p>また、行政サービスコーナーは旧3町の住民の方は利用している方がおり、無くなると不便になる。</p>
企画財政課長	<p>行政サービスコーナーについて、市民に対してしっかりと説明を行い、検討していきたい。市としては、小松市のように、お見送りコーナーのような窓口を設置し、市民の負担軽減を図りたいと考えている。職員数について、合併した平成17年には899人いた職員を平成30年に522人まで減らした。どこに市民サービスの重点を置くのか、優先順位をつけて、職員を配置している。土曜日の開庁についてであるが、利用者は少ない。また、県内の自治体をみても、土曜日を開庁しているのは、七尾市だけである。志賀町は土曜日、予約制で対応している。</p>
南委員長	<p>行政サービスコーナーを廃止する代わりに、住民票などの発行はコンビニで行えるということか。または、志賀町のようにするのか。</p>
企画財政課長	<p>能登島などの旧3町のコンビニで住民票などの諸証明を発行することできるので、行政サービスコーナーを廃止するという考えである。</p> <p>土曜日開庁をやめても、子ども医療費の還付は1年間あるので、対応できると考えている。</p> <p>また、手続きは郵送も可能であるので、利用していただきたい。</p>
和田委員	<p>医療費窓口の支払いを無くせばいいだけだと思う。</p>
千場委員	<p>高齢者がコンビニに行って、機械を使えるのか。また、行政サービスコーナーのようにコンビニの店員が対応できるのか。</p>
企画財政課長	<p>係長以上の職員が「まごころ連絡員」としているので、利用していただきたい。</p>
総務部長	<p>すぐに行政サービスコーナーを廃止する訳ではない。しっかり、各地域に入って説明しなければならぬと考えている。</p>
小林委員	<p>このプランを策定するのはお金の問題ではないのか。</p>
企画財政課長	<p>このプランは3次プランのようにいくら足りないからというようなものではなく、第2次総合計画を支えるものとして策定するものである。</p>
南委員長	<p>行政サービスコーナーを利用している市民の声をしっかり聞いて検討していただきたい。</p>

小林委員	空き公共施設の活用について。教育委員会が所管する体育館などの民間活用は可能か。
企画財政課長	徳田小学校のように耐震基準を満たしていない施設は利用はできないが、耐震基準を満たしている施設については、地域からのオファーがあれば対応できる。
小林委員	現在、民間企業は倉庫が足りていない。例えば、地域づくり協議会に指定管理させ、自主財源を稼がせるというようなことができないか考えている。
企画財政課長	ガイドラインを策定するときに検討したい。
千場委員	もう1点質問したい。能登島ロードレースは今年から地域づくり協議会が主催し、行った。ただ、今まで使用していた駐車場の使用料が有料になったと聞いた。しっかり減免規程を策定して欲しい。
企画財政課長	現在、地域づくり協議会が行う事業の減免に関するガイドラインがない。
市民生活部長	この件については、なるべく早く解決したい。なお、今年度の能登島ロードレースの主催は、実行委員会となったため、減免としなかった。
総務部長	使用料の減免については、各課バラバラである。当部の監理課で今年度中に整理をするよう、指示しているところである。
佐藤副委員長	私から1つ質問させていただきたい。地域づくり協議会の体制強化とは、どういう意味か。
市民生活部長	地域づくり協議会が自主財源を確保することである。指定管理することにより、例えば臨時休館する場合は、今まで市の許可が必要であったが、各地域づくり協議会で決めることができる。また、各地域づくり協議会で雇用することにより、報酬額や雇用人数を決められる。
佐藤副委員長	各地区の福祉や防犯の分野については組織が2つあり、重なる部分でできているところがある。また、地域づくり協議会の方向性が見えないところもあると聞く。もう少し、地域に丁寧の説明して欲しい。仕事が増えていると思っている市民が多いと思う。
津田委員	給食の民営化について、子供たちにメリットはあるのか。来年度から、給食センターで一部のアレルギー対応ができないと聞いたがどうなのか。
企画財政課長	給食の民営化については、人件費や運営費の削減を目的に実施している。給食が冷たくなったと聞いているが、配送方法を工夫し、対応していきたい。
教育部長	アレルギーの件については、把握していない。次回、調べてから回答させていただく。
南委員長	私から3点質問させていただきたい。 まず、職員の育成の部分について、言葉が少しぼやっとしていると感じる。 次に、健全な財政運営について、将来への負担軽減と記載しているのであれば、数値目標を掲げるべきではないか。 もう1点は、加入率と接続率は税に関係がない。何を指しているのかわからない。
小林委員	ちなみに次回はこの委員会をいつ開催する予定か。
企画財政課長	次回の委員会の開催は12月中旬を予定している。 将来への負担軽減については、繰上償還を行うことで、将来の財源を確保したいということである。 職員の育成部分の記載については、再度、検討したい。

南委員長	下水道について質問する。各地、家が少なくなっており、下水処理場を維持することが困難になっていると思う。環境的に許されるのであれば、合併浄化槽の普及に努めても良いのではないか。
建設部長	現在、市内には45の処理場がある。今までに2地区の処理場が合併した。今後は、10を超える処理場を統合したいと考えている。